

# 2022年8月7日 主日礼拝

司 会  
祈 禱  
奏 楽

賛 美 讃美歌312番「いつしみ深き」  
(God is working for my good)  
(あなたは愛されるため生まれた)

十 戒

聖 書 ①② ルカによる福音書4章1～14節(P89)  
③ ヨハネによる福音書3章1～8節 (P138)

音 楽 Cloud By Day (V)

メッセージ ①② 「荒野の誘惑」 小林詩音副牧師  
③ 「神がご一緒の世界」 大川従道主任牧師(V)

賛 美 「遠き国や」(聖歌397番) 献金

頌 栄 「主の名を賛美しよう」アーメン  
祝 禱

「強く、また雄々しくあれ。あなたがどこへ行くにも、  
あなたの神、主が共におられるゆえ、恐れてはならない。」

(ヨシユアーの九)

## 【大和ニュース】

☆大川先生ご夫妻、森屋先生はアメリカ宣教旅行中です。本日はバテル教会。

旅程は聖務表に載っています。旅の安全と祝福のため、お祈りください。

\* 本日、青年(20～30代)・学生世代・中高生のJ.PLUS合同集会(14:30泉チャペル)、  
パルナバ会(14:00泉3F&Zoom) 第四礼拝(18時)大野メディア伝道師

\* 今週も祈禱会を大切に！水曜夜と木曜朝。説教は坪井師、証詞は齋藤兄。  
J.PLUS Day キャンプは、木曜祈禱会に合流(朝10時～12時まで)。

\* 土曜日、会堂掃除(12:00)、プレミアムクワイア(14:00 森チャペル)

\* 東京カルバリーフェローシップは来週日曜16時。広尾の21世紀教会にて。(地図は受付)

\* 今週もコロナ感染対策に万全を尽くします。皆様もご注意下さい！

\* 主日礼拝人数 ①105人(332) ②208人(348) ③205(322) ④19=1539人

定例祈禱会 水曜79人(213) 木曜97人(135)=524人 ※( )内はYouTubeのライブ人数

## 石の枕

8月は「戦争と平和」を考える月。私は戦争を知らない世代であるが、祖母はよく、自らが体験した東京大空襲の恐ろしさを語ってくれた。焼夷弾が火の雨のように降ってくる中、まだ幼かった息子(今の私の父)を背負い、逃げ回ったそうだ。

太平洋戦争の末期、米軍の巨大な戦艦に航空機で体当たりし、自爆する特攻隊があったことは知られているが、もう一つの特攻隊があったという。以下は故 武井博牧師の文章(2018年9月30日、横浜カルバリーチャペル週報)より抜粋。

「この度『ベニヤ舟の特攻兵』(豊田正義著・角川新書)という本を読んで、ベニヤ板の小舟で敵艦に突撃する“特攻隊”があったことを初めて知りました！明治大学の学生であった菅原寛さんという方は、学徒兵として、陸軍歩兵隊に入隊しました。そして、1944年に、「決死生還を期せざる要員」という兵員の募集があり、悩みに悩んだ末に、「志願しよう」と心に決めました。「決死生還を期せざる要員」とは、二度と生きて帰ることをしない“決死隊”の若い兵員のことです。

その要員になった菅原さんは、広島県の江田島の海軍基地に配属されたのです。陸軍に入ったのに、海軍基地に送られると知って菅原さんは驚きました。ところが、そこは、陸軍と海軍が合同でベニヤ板製の小舟に爆弾を積んで、敵艦目がけて体当たり攻撃をする『水上特攻隊』の訓練基地だったのです。

舟の全長は約6メートル、全幅は約2メートル、高さ約70センチ。しかも、ベニヤ板製…(中略)『ああ、とんでもない所へ来てしまった！こんなことに命を懸けろなんてあんまりだ！』と絶望の淵に突き落とされたそうですが、それはあとの祭り…」

ところが配属されて間もなく、広島に原爆投下。菅原さんたち、2千名の要員はその被害者たちの救助にあたることとなった。そのほとんどが15、6歳の少年兵だったという…。

生れる時代が違ったならば、自分もそこにいたかもしれない。世界平和を祈る者である。地上ではケストナーの動物たちが、天上では天使たちが、人間の愚かさに頭を悩ませる。しかし神の御子の命によってまことの平和が作り出されたことを思い起し、共に御国のために生きる者でありたいと願う。(マタイ6の10) (文責:小林)

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！

Aコース:ローマ8章～12章 Bコース:詩篇79篇～98篇